

群馬県商店街振興組合連合会

第53回通常総会・研修会・懇親会

群馬県商店街振興組合連合会(今川守会長)は、5月23日、ホテルメトロポリタン高崎において、第53回通常総会・研修会・懇親会を開催した。

通常総会

今川会長が挨拶をした後、同氏が議長に選任され、議事を進行。以下の議案の審議を行い、全議案可決承認・決定された。

- ①令和4年度事業報告書並びに収支決算書承認の件
- ②令和5年度事業計画並びに収支予算決定の件
- ③令和5年度経費の賦課並びに徴収方法決定の件
- ④令和5年度借入金残高の最高限度決定の件

議案審議終了後、群馬県産業経済部・下山^{ただし}正副部長が祝辞を述べ、通常総会は閉会した。



今川会長



下山副部長

研修会

講師：商い未来研究所 代表 笹井清範 氏

演題：激変時代の個店経営～売れる人が

やっているたった4つの繁盛の法則～

笹井氏は、冒頭、EC市場拡大やコロナ禍による消費行動の変容により、商店街の物販業としての役割は低下しており、従来と同様の商売をしては生き残れないと、危機的状況にある商店街の現状を述べた。

そして、現在の消費志向は、生活必需品を求める顕在ニーズと人生の充実を求める潜在ニーズに分かれており、潜在ニーズに応える新たなマーケティングの4Pが重要視され、商店は生活の質を高める場として必要とされる存在となるべきとポイントを解説した。



笹井講師

新たなマーケティングの4P

- Philosophy(事業の哲学・理念)
- Story-rich Product(物語性豊かな製品)
- Personality(人間性)
- Promise(顧客との約束・絆)

最後に、雑誌『商業界』創業者である倉本長治氏の言葉を紹介し、目先の利益に囚われるのではなく、お客様とともに生きる未来を見据えた経営をしていく必要があると述べ、研修会を締めくくった。

懇親会

今川会長の挨拶の後、中央会・大澤伸一郎専務理事の発声により乾杯。令和元年以来、4年ぶりの懇親会が開催され、終始和やかな雰囲気的交流・懇談が図られる中、中島庸一副会長の中締めで盛会裏に終了となった。



懇親会で交流を深める参加者